

你好!

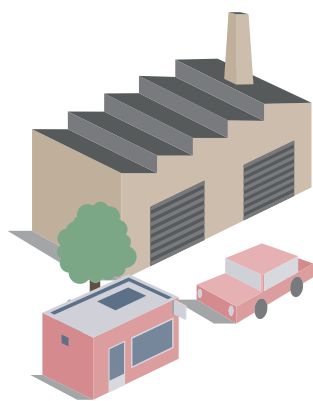
北京通信 Vol.6



福井商工会議所 主事
(中国日本商会 出向)
藤原 卓也

政府が「中国製造2025」を公表

中国政府が2015年5月末、製造業の今後の指針を示す『中国製造2025』を打ち出しました。3つの段階を経て中国を現状の「製造大国」から総合力で世界トップの「製造強国」にしようという計画です。第1段階として、2025年までに世界の製造強国の一つになるべく、「次世代IT技術」「ハイエンド工作機械・ロボッ



ト」「航空・宇宙設備」「海洋工程設備・ハイテク船舶」「先進軌道交通設備」「省エネ・新エネルギー自動車」「電力設備」「農業設備」「新素材」「バイオ医療・高性能医療器械」を重点的に発展させる10大産業として指定しました。さらに、ITの活用や財政面での支援を行うことで、製造業全般で効率と水準の一段の引き上げを図ります。

世界的なイノベーションへの追従が背景に

本計画策定の背景には、豊富な資源と安い人件費を活用した労働集約的な生産体制の限界と、世界的なイノベーションの進展が挙げられます。かつて「世界の工場」と言われた中国ですが、現在では人件費の高騰や新環境



保護法をはじめとする環境面での制約が高まり、投資と輸出が伸び悩んでいます。加えて、未だ国内には模倣品が蔓延し、一流の技術力を有する国際競争力ある国内メーカーが限られています。ITを駆使したイノベーションに先進国が取り組む中、中国も遅れを取るわけにはいかない、という目論みが背景に垣間見えます。

4つの原則と5つの方針

『中国製造2025』では、4つの原則と5つの方針に則って製造強国の実現を図る、とうたっています。4つの原則とは「①市場が主導、政府が誘導②現在に立脚、長期に着眼③全体的に推進、重点的に躍進

④自主的發展、開放強化」であり、5つの方針とは「①イノベーション主導②品質優先③グリーン発展④構造最適化⑤人材重視」です。上記方針につき、一見すると日本の製造業においては当然のように取り組まれておりますが、急激な経済成長により世界第二位の経済大国となった中国においては、まさに今後求められる方針です。環境汚染を続けながら過剰生産を繰り返す中国の製造現場に対し、上記の原則・方針を政府が打ち出したことは、「新常态」に入つた中国が製造業の質を向上させることで経済成長を維持し、ひいては先進国への仲間入りを果たそうという決意が見て取れます。『中国製造2025』が成功すれば、数十年後には中国が高い技術力を駆使した「世界の工場」に変貌しているかもしれません。

中国日本商会へのお問い合わせは...

福井商工会議所 会員サービス課

TEL 0776(33)8254